

## 推薦調書（実装部門）

表彰区分	町・村	推薦都道府県	奈良県
地方公共団体名	奈良県吉野郡吉野町		
取組名称	オンデマンド交通サービス支援システム		
連携自治体、企業、団体等	順風路株式会社、社会福祉法人吉野町社会福祉協議会 バス事業者、タクシー事業者		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 交通
	<p><b>【デジタルを活用した取組の全体概要】</b>  ○東京大学と順風路(株)との共同研究で開発されたオンデマンドバス交通システムを活用し、電話及びインターネットから予約可能で、利用者の要望に応じて運行ルートやダイヤを設定し小型車両（8～10人乗り等）での乗合運行を実現する。  高齢者等の見守りも含め、予約センターを社会福祉協議会に設置している。</p> <p><b>【実施に至る経緯・動機】</b>  ○路線バスが撤退した事を機に町が路線定期運行型によるコミュニティバスを運行させてきた。しかしながら、高齢化率が50%を超える地域であり、従来の公共交通システムの見直しが必要であった。  そのような状況の中、利用者の大半を占める高齢者等にとって利便性の高いオンデマンド交通システムを構築した。また、予約制・登録制により不特定多数の利用を避ける事が出来、公共交通では困難であった感染症対策を行う事が可能となる。</p> <p><b>【解決する課題の具体的内容】</b>  ○民間路線バスが撤退し、これまでは路線定期運行型のコミュニティバスを運行していたが、バス停までの距離があり、コース・時間が限定されるコミュニティバスは交通弱者にあたる高齢者等にとっては不便であった。また路線バス撤退による観光客の交通手段確保が急務である。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>①延べ利用者数 2022年：18,000人 2023年：19,200人 2024年：20,400人</p> <p>②運転免許自主返納等に対するコミュニティバス利用者促進事業申請者 2022年：10人 2023年：15人 2024年：20人</p> <p>③高齢者の事故発生件数 2022年：0件 2023年：0件 2024年：0件</p> <p>④町外利用登録者 2022年：100人 2023年：200人 2024年：300人</p> <p>※2022年運行開始の為、全て目標値</p>
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の中で、システムでの予約状況を確認し密にならないように設定を細かく管理し感染対策に注力している。</p> <p>また、吉野町独自の取り組みとして、利用者の大半を占める高齢者等の見守りも含め、福祉的な側面からも町民の暮らしを支えることができるように、社会福祉協議会に予約センターを設置している。</p> <p>外出する事で介護予防等にも効果があるとされている事から安心安全に外出してもらい町内経済効果にも期待できる。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>免許自主返納等で車を運転することができなくなっても生涯吉野町で住み続ける事ができる地域公共交通システムを構築することで安心安全に暮らしていける事を目指す。また、町内だけでなく過疎化が進む吉野地域全体に本システムを広め、住民だけでなく観光客誘致にも繋げるように県や近隣市町村とも連携していきたい。</p>

# システムの全体図

